【事 故】

富山県道路安全・円滑化検討委員会

安全走行阻害箇所関係　説明資料

－目　次－

１．これまでの検討経緯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
２．安全走行阻害箇所（概要・進捗状況）　・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
３．対策実施事例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
４．対策実施効果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
５．新規登録候補区間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８
６．（新）安全走行阻害箇所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１３

平成28年7月25日（月）

1　これまでの検討経緯

○ 富山県道路安全・円滑化検討委員会は、道路交通の安全性を図るため、選択と集中による交通事故対策をPDCAマネジメントサイクルに基づき実施。
○ 富山県道路安全・円滑化検討委員会は、これまでに８回実施。

■ 交通事故対策の検討方法

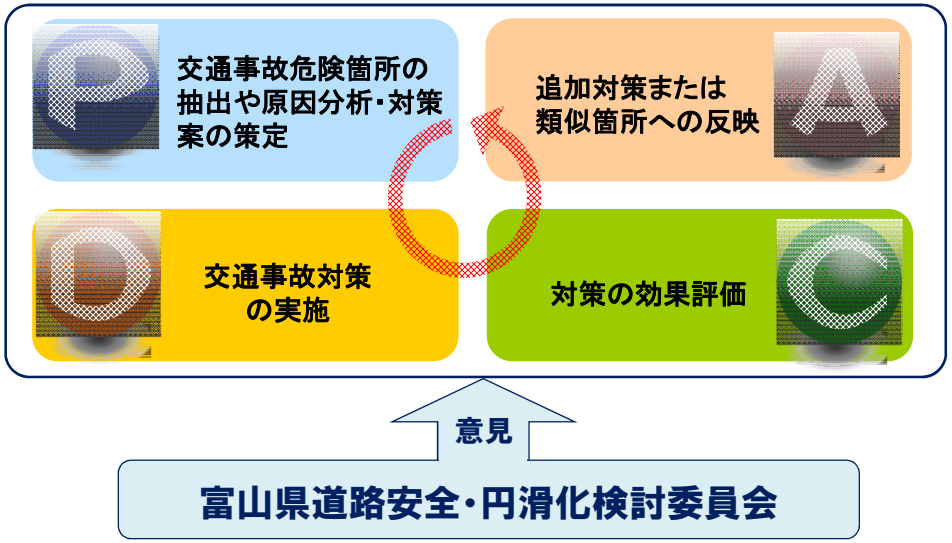


図1-1 交通事故対策のマネジメントサイクル

安全走行阻害箇所とは・・・

・富山県の一般県道以上の道路を対象に、事故データや地方公共団体、地域住民の意見を参考に効率的・効果的に交通事故対策を実施すべき箇所を示す。

■ これまでの委員会

富山県道路安全・円滑化検討委員会

平成20年12月24日
- 安全走行阻害箇所選定の考え方の確認
- パブリックコメントの実施方針の確認

平成21年3月25日
- パブリックコメントの実施結果の報告
- 新たな安全走行阻害箇所抽出の策定

平成22年6月29日
- 安全走行阻害箇所の決定
- 事故対策の進め方の検討

平成24年7月11日・12月25日
- 安全走行阻害箇所の対策の実施状況

平成25年7月4日
- 安全走行阻害箇所の実施状況報告
- フォローアップルールの策定

平成26年8月26日
- 安全走行阻害箇所の実施状況報告
- 対策効果評価結果の報告

平成27年10月14日
- 安全走行阻害箇所の実施状況報告
- 対策効果評価結果の報告

安全走行阻害箇所数

- H22年度末 127区間
- H23年度末 157区間
- H24年度末 211区間
- H25年度末 226区間
- H26年度末 236区間

図1-2 過去に行った委員会の協議内容と安全走行阻害箇所数

2 安全走行阻害箇所（概要・進捗状況）

○ 富山県の安全走行阻害箇所は、①事故危険箇所　②事故多発箇所　③アンケート抽出箇所　の３条件を基に選定。
○ 安全走行阻害箇所数は、これまでに236区間登録。

■ **安全走行阻害箇所抽出条件と箇所数**

		①事故危険箇所	②事故多発箇所	③アンケート抽出箇所	計
抽出条件		①死傷事故率100件/億台km以上 かつ ②重大事故率10件/億台km以上 かつ ③死亡事故率1件/億台km以上	①死傷事故率100件/億台km以上 かつ ②重大事故率10件/億台km以上 かつ ③死傷事故件数1件/年以上	同一箇所で複数人（２人以上）から危険と指摘された箇所のうち、指摘事項と過去に発生した事故の内容が合致した箇所	
抽出結果	国	34区間	57区間	34区間	125区間
	県	43区間	59区間	9区間	111区間
	計	77区間	116区間	43区間	236区間

④安全走行阻害箇所

① **事故危険箇所**（全国統一の抽出条件）
・H20年度、H24年度、H27年度に、国土交通省が幹線道路の安全対策を効率的・効果的に進めるために警察庁と連携して、特に交通事故の発生割合の高い幹線道路区間において重点的な交通事故対策を実施する箇所として指定した箇所
② **事故多発箇所**（富山県オリジナルの抽出条件）
・事故危険箇所以外で死傷事故が多発している区間を抽出した箇所
③ **アンケート抽出箇所**（富山県オリジナルの抽出条件）
・同一箇所で複数人から危険と指摘された箇所のうち、指摘事項と過去に発生した事故の内容が合致した箇所
④ **安全走行阻害箇所**
・①、②、③で抽出された箇所全て

2 安全走行阻害箇所（概要・進捗状況）

○ 富山県の安全走行阻害箇所236区間のうち、約９割が対策済み又は、事業中

■ 安全走行阻害箇所の対策実施状況

【直轄国道＋富山県管理道路】

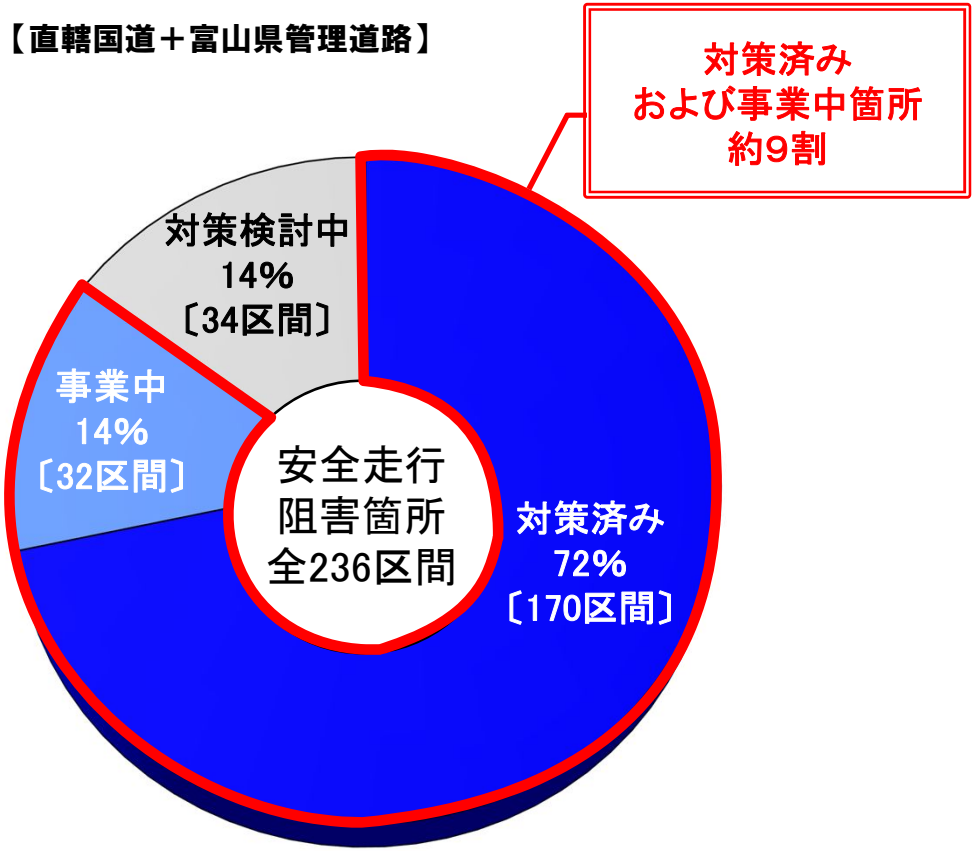


図2-1 富山県安全走行阻害箇所の進捗状況

【直轄国道】

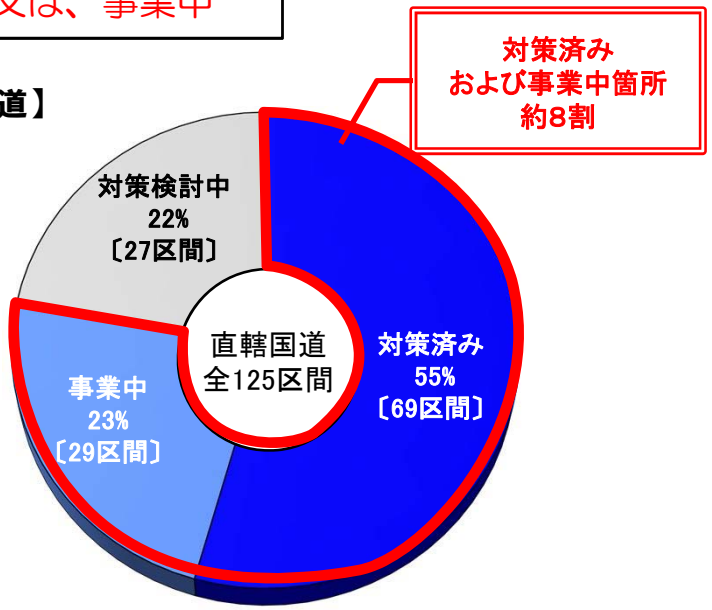


図2-2 直轄国道の安全走行阻害箇所進捗状況

【富山県管理道路】

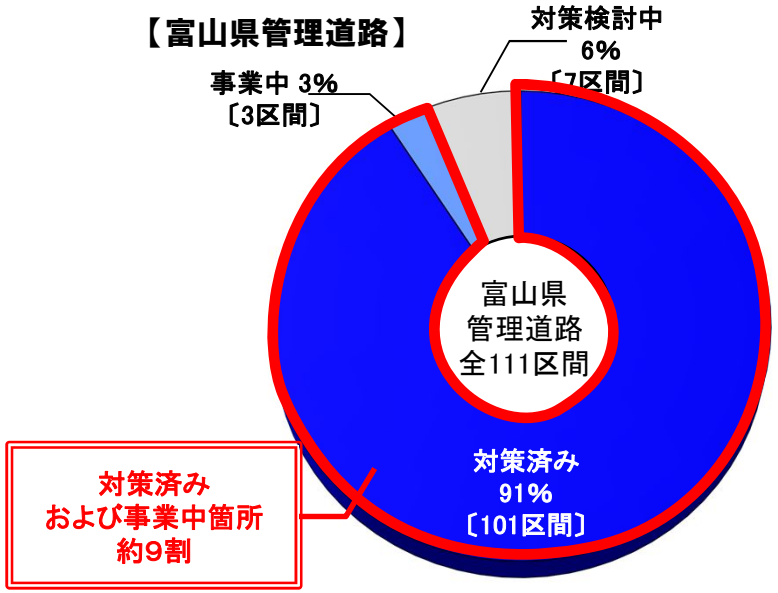


図2-3 富山県管理道路の安全走行阻害箇所進捗状況

【凡 例】
対策済み ：H28年3月末までに事故対策を実施した区間。
（経過観察箇所含む）
事 業 中 ：H28年3月末までに事業着手した区間。
対策検討中 ：事故対策方針が検討中の区間。

3 対策実施事例

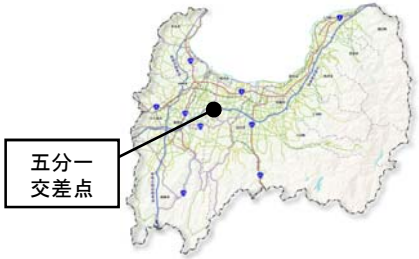
○ 主要地方道 高岡小杉線 五歩一交差点は、交差点内の右折事故防止を目的に右折車線改良等の対策実施。

事例：主要地方道 高岡小杉線　射水市　五歩一交差点

Plan　問題の把握と対策立案

■ **交差点内で右折事故が多発**

・交差点を右折する場合、対向右折車が死角となり 対向直進車が、視認しづらく無理な右折を誘発。



【事故データ】

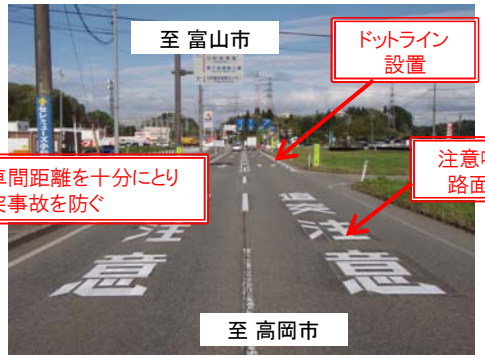
死傷事故件数：4年間で20件発生

死傷事故率：810.8件/億台km

データ：ITARDAデータ(H23～H26)

【事故状況と要因】

【対策案】



Do　対策実施（H26年5月）

〔対策内容〕

① 右折車線を対向車線寄りへ移設

② 注意喚起の路面標示（ドットライン、「追突注意」

3 対策実施事例

○ 国道41号 城址公園前交差点は、事故危険区間および主要渋滞箇所として指定。
○ 本交差点では、右折車が右折車線をはみ出し直進車を阻害し追突事故が発生していたため、対策として右折車線の延伸を実施。
○ その結果、直進車への走行阻害回数が半減、また渋滞が緩和したことで全車線の走行速度が向上。

■ 国道41号　富山市　城址公園前交差点の対策事例

図3-4 位置図

Plan　問題の把握と対策立案

事故状況：城址公園前交差点の事故は、右折車線をはみ出し滞留車に後続車が見落とし追突

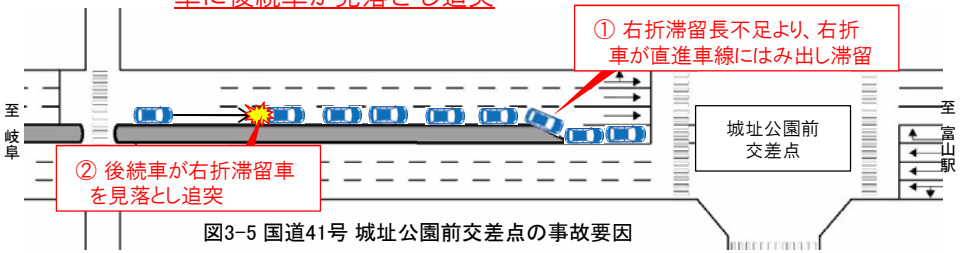


図3-5 国道41号 城址公園前交差点の事故要因

Do　対策実施（H27年8月）

対　策：H27年8月に右折車線を延伸

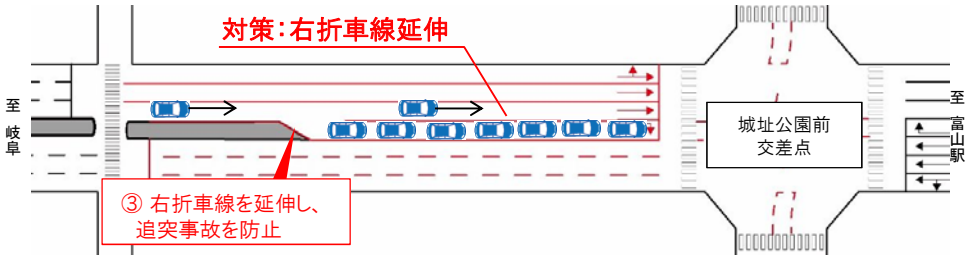


図3-6 国道41号 城址公園前交差点の対案

【参考】対策効果

1）右折車線手前の車両挙動調査結果
・右折車線延伸後は、右折車による直進車走行阻害回数が半減。
・無理に車線変更を行う車両が約3割減少した。

①右折車滞留による直進阻害回数

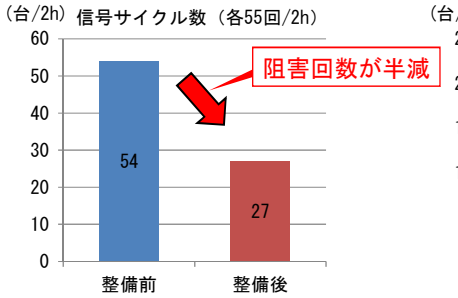


図3-7右折車による走行阻害回数

②直進車の車線変更台数

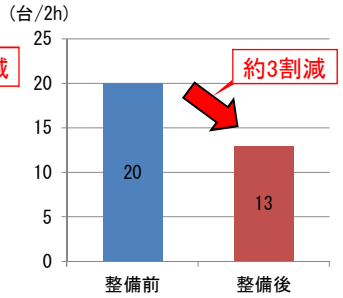


図3-8 第3車線直進の車線変更台数

2）交差点直近の走行速度調査結果
・車両走行速度（直進車の速度）が全直進車線で向上。
・特に第3車線を走行する車両の速度が約10km/h向上。

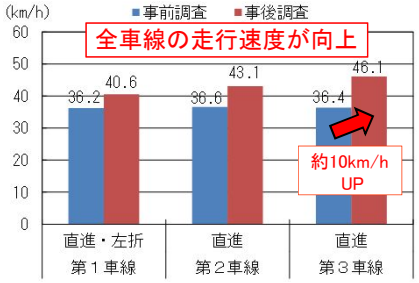


図3-9 各車線別の走行速度

4 対策実施効果

4-1. 富山県の交通事故件数

○ 富山県の交通事故件数は、H22年からH27年にかけて約３割減少。
（H22年 5,694件 → H27年 3,945件（1,749件減）

■ 富山県の交通事故件数の推移

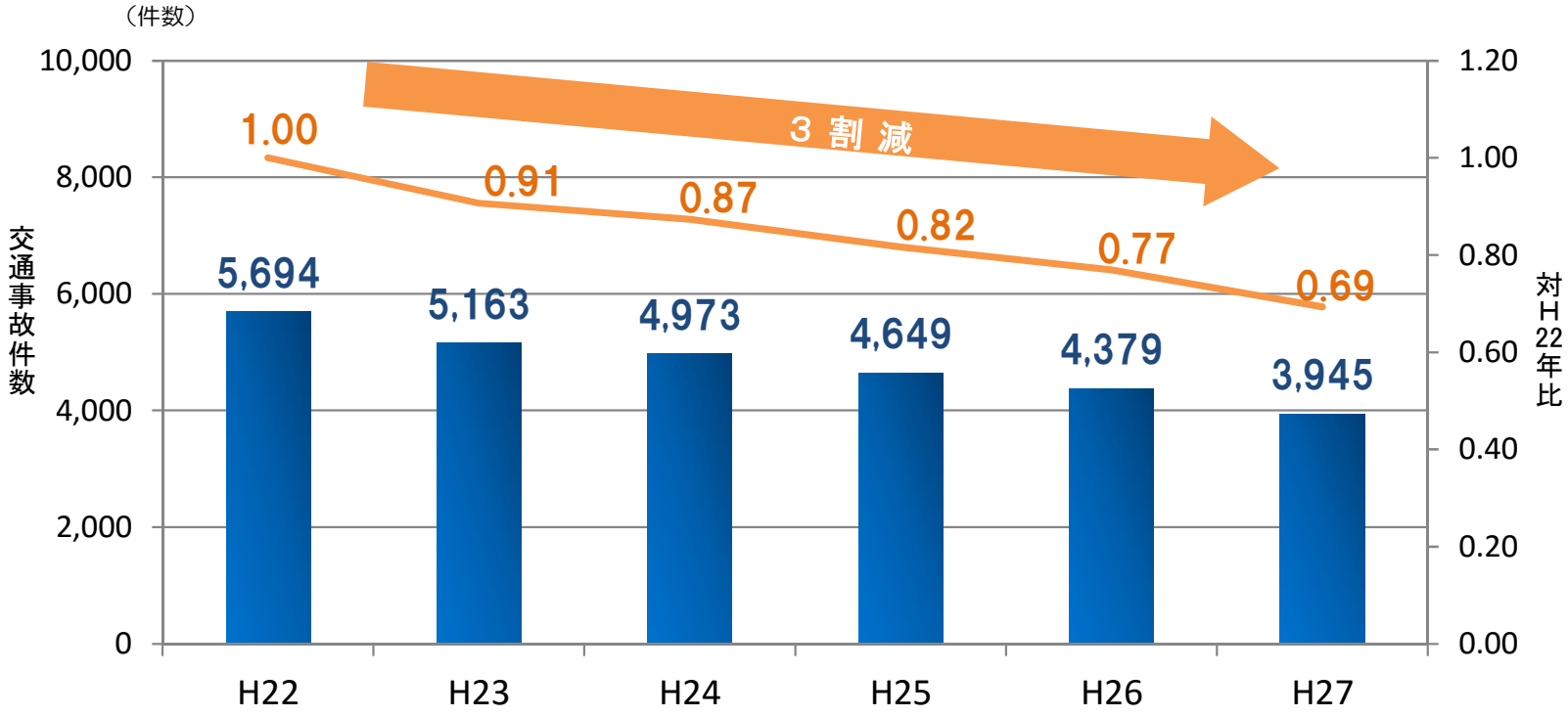


図4-1 富山県の交通事故件数推移

対H22年比：H22年死傷事故を1.0とした時の各年の減少率

出典：富山県警察本部「富山県交通事故白書」

4 対策実施効果

4-2. 箇所別評価（国道472号 橋下条交差点事例）

○ 国道472号 射水市橋下条交差点では、クレストで交差点の見通しが悪いため、交差点の認識が遅れ、交差点手前での前方車両の急な停止・減速に後続車の対応が遅れ、事故が発生。
○ 対策は、ドライバーへの注意喚起を目的として、車道に注意喚起路面標示を実施。
○ 事故対策後、死傷事故は発生していない。（対策前2.25件/年→対策後0件/年）

Plan 問題の把握と対策立案

・交差点手前の橋梁がクレストとなり、交差点の見通しが悪い。
⇒交差点手前に注意喚起対策を実施

図4-2 位置図

Do 対策実施（H22年）

Check 効果の検証

〔死傷事故件数削減効果〕

・対策後、4年間（H23～H26年）で死傷事故は発生していない。
（2.25件/年→0.0件/年）

対策前 年平均 2.25件/年 → 削減 → 対策後 年平均 0.0件/年

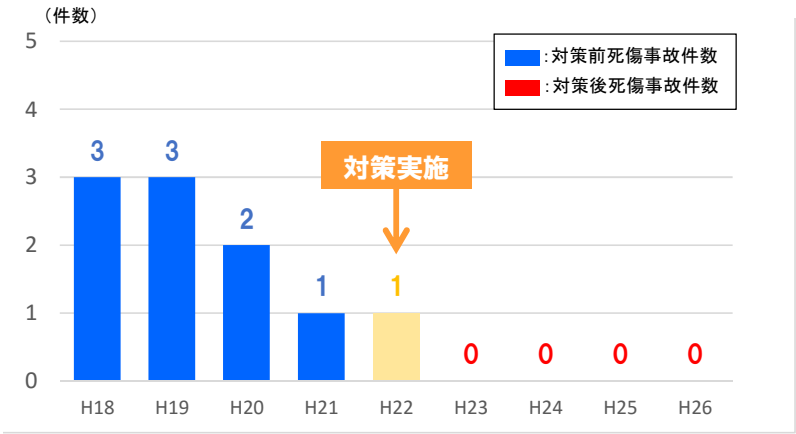


図4-3 死傷事故件数経年変化
※ 国道472号 橋下条交差点の死傷事故件数比較
※データ：H23～H26年ITARDAデータ

4 対策実施効果

5-3. 箇所別評価（国道8号北馬場交差点事例）

○ 国道８号 北馬場交差点は、交差点内で右折車と対向直進車との事故が多発。
○ 右折事故の要因は、右折車からの対向直進車の視認性が悪く見切り発進で右折を行い事故が発生。
→対策：右折分離ゼブラ帯の設置
○ 対策の結果、年平均死傷事故件数が約６割減少。（対策前3.75件/年→対策後1.50件/年）

Plan 問題の把握と対策立案

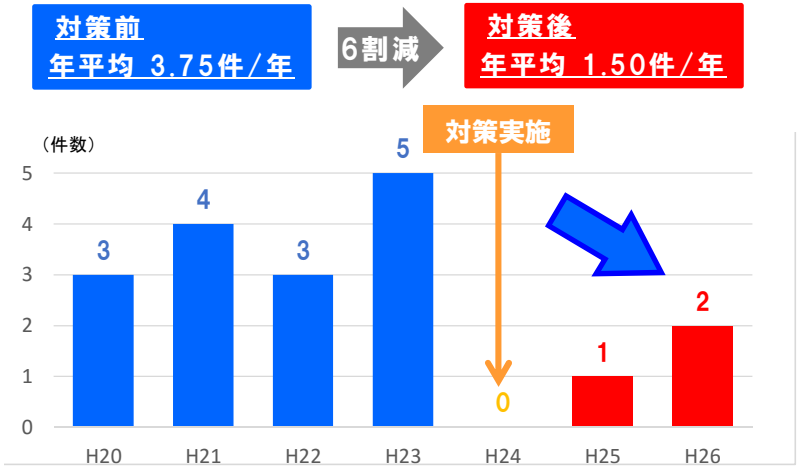
・本交差点の事故は、右折車と対向直進車との右折事故が多発。
・右折事故の要因は、右折車からの対向直進車の視認性が悪く、見切り発進で右折を行い事故が発生。
→対策:右折分離ゼブラ帯の設置

図4-4 交差点の右折事故要因

Do 対策実施（H24年）

Check 効果の検証（死傷事故件数削減効果）

・対策後、2年間（H25～H26年）で死傷事故件数が約 3割削減。



:対策前死傷事故件数
:対策後死傷事故件数

図4-5 死傷事故件数経年変化
※ 国道8号 北馬場交差点の死傷事故件数比較
※データ:H23～H26年ITARDAデータ

5 新規登録候補区間

5－1. 追加抽出条件と安全走行阻害箇所新規候補区間数

○ H27年度の安全走行阻害箇所の新規登録候補区間は、①事故多発箇所②事故危険箇所③アンケート抽出箇所の３条件に基づき抽出。
○ ①事故危険箇所については、新たな抽出基準（ETC2.0を活用して判明した潜在的危険箇所等、地域の課題や特徴を踏まえ緊急的、集中的な対策が必要な箇所）が追加。
○ その結果、事故危険箇所：20区間、事故多発箇所：4区間の、計24区間を新規候補区間として抽出

■事故危険箇所の追加抽出条件

	①事故危険箇所	②事故多発箇所	③アンケート抽出箇所	計
抽出条件	これまでの抽出条件 ①死傷事故率100件/億台km以上 かつ ②重大事故率10件/億台km以上 かつ ③死亡事故率1件/億台km以上 ＋ 追加抽出条件 ・上記抽出基準に該当しない箇所のうち、ETC2.0のビッグデータを活用して判明した潜在的危険箇所等、地域の課題や特徴を踏まえ、特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所	①死傷事故率100件/億台km以上 かつ ②重大事故率10件/億台km以上 かつ ③死傷事故件数1件/年以上	同一箇所で複数人（２人以上）から危険と指摘された箇所のうち、指摘事項と過去に発生した事故の内容が合致した箇所	

抽出結果		①事故危険箇所	②事故多発箇所	③アンケート抽出箇所	計
	国	4区間	4区間	0区間	8区間
	県	16区間	0区間	0区間	16区間
	計	20区間	4区間	0区間	24区間

安全走行阻害箇所新規候補区間

5 新規登録候補区間

5－2. 新規候補区間

○ H27年度安全走行阻害箇所新規候補区間：２４区間

■新規候補区間リストと位置図

表5-3 H27年度 新規候補区間一覧

No	管轄	市町村名	箇所名	路線番号	抽出条件
1	国	富山市	飯野新屋交差点	国道8号	事故多発箇所
2	国	射水市	沖塚原交差点	国道8号	事故多発箇所
3	国	富山市	一番町(南)交差点	国道41号	事故多発箇所
4	国	砺波市	栄町交差点	国道156号	事故多発箇所
5	国	砺波市	荒高屋地先	国道156号	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
6	県	南砺市	見座～来栖	国道304号	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
7	県	砺波市	太田地先	(主)砺波細入線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
8	県	南砺市	法林寺交差点	(主)金沢井波線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
9	県	富山市	山本～西押川	(主)小杉婦中線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
10	県	富山市	平岡交差点	(主)新湊平岡線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
11	県	富山市	開発交差点	(主)富山上滝立山線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
12	県	魚津市	釈迦堂地先	(一)阿弥陀堂魚津停車場線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
13	県	射水市	鷲塚地先	(一)小杉本江線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
14	県	小矢部市	臼谷～未友	(一)砂子谷埴生線	事故危険箇所（これまでの抽出基準）
15	国	富山市	水橋二杉交差点	国道8号	事故危険箇所（追加抽出基準）
16	国	滑川市	上島神社前交差点	国道8号	事故危険箇所（追加抽出基準）
17	国	富山市	公設市場前交差点	国道41号	事故危険箇所（追加抽出基準）
18	県	高岡市	戸出町北交差点	(主)富山戸出小矢部線	事故危険箇所（追加抽出基準）
19	県	高岡市	北島西交差点	(主)高岡羽昨線	事故危険箇所（追加抽出基準）
20	県	射水市	池多～土代	(主)小杉婦中線	事故危険箇所（追加抽出基準）
21	県	高岡市	雨腫交差点	国道415号	事故危険箇所（追加抽出基準）
22	県	射水市	本江地先	(一)小杉本江線	事故危険箇所（追加抽出基準）
23	県	射水市	殿村交差点	(一)八町大門線	事故危険箇所（追加抽出基準）
24	県	高岡市	新吉久電停部	(一)堀岡新明神能町線	事故危険箇所（追加抽出基準）

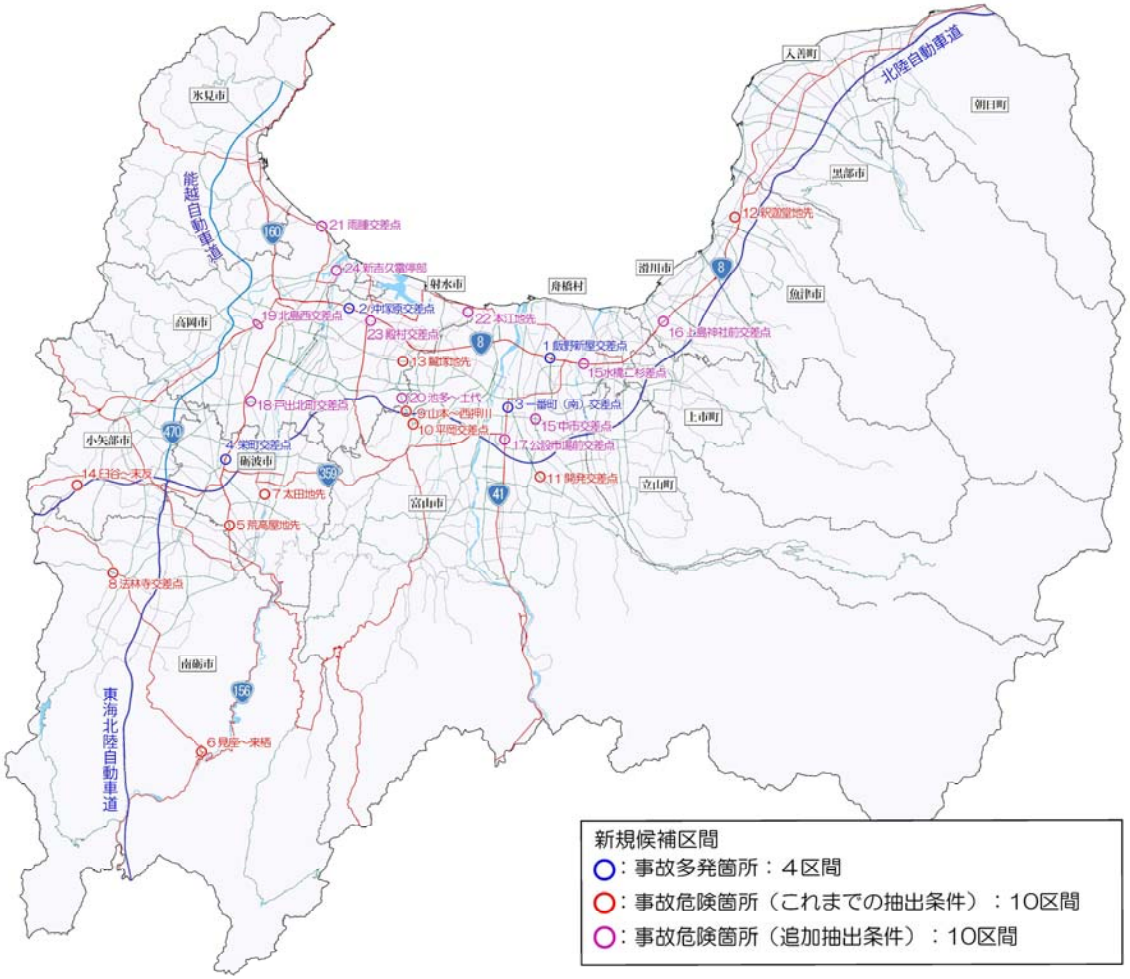


図5-3 H27年度 新規候補区間位置図

5 新規登録候補区間

5－4. 新規登録候補区間の事例1〔(一)堀岡新明神能町線 新吉久電停部〕

○ H25年9月、新吉久電停部にて電車待ちの歩行者に乗用車が衝突する事故が発生。
○ 所轄警察や高岡市と協力し安全対策を検討。

■ 広域図

図5-4 位置図

〔事故状況〕
・H25年9月27日、万葉線新吉久電停部にて男性が乗用車にはねられる事故発生

〔対策方針(案)〕
①歩道設置　②島式電停設置

図5-6 乗降状況

北日本新聞 2013年(平成25年)10月1日 火曜日 社会 (34)

事故の万葉線・新吉久電停

1カ月めどに安全策

現場で関係者協議

27日夜に高岡市吉久の万葉線新吉久電停で男性が乗用車にはねられた事故を受け、万葉線株式会社や高岡署、県などの関係者15人が30日、現場を視察し、安全対策を話し合った。電停の廃止や移設は困難として、ポール設置や照明の増設など早急にできる策を中心に検討することにした。同署によると、はねられ意識不明だった同市笹野、派遣社員、白石博さん(26)は同日朝に意識を取り戻した。

新吉久電停は片側1車線の県道上にあり、車道との間にガードレールや段差はない。5年前には81歳の女性が車にはねられ死亡した。同社は電停の位置を見通しの良い場所へずらし、カラー塗装化や発光装置の設置などを進めたが、再び事故が起きた。

同署の奥田交通官が現場で事故の概況を説明。検討の方向性として▽電停の廃止▽電停の移設▽現在地での安全対策―の3点について意見交換した。新吉久電停を廃止すると約1・2キロの空白区間が生まれるため、同社は「住民の理解を得るのは難しい」とした。また電車がすれ違う区間のため、現状のまま移設するのは不可能と説明した。

近くに住む無職女性(80)は「狭い道路なのにスピードを出す車が多い」と指摘し、近くの工場で働く男性(40)は「照明が暗く、夜に乗り場に立つのは危険」と強調する。現場を確認した関係者からは、夜間照明の増設、減速させる凹凸舗装、乗り場を避けるように仕向けるポールや注意を促す電光掲示板の設置などの具体案が出た。同社は新吉久電停と同様に車道と段差のない「吉久」「片原町」の2電停についても安全策を検討する。

事故があった新吉久電停を視察する関係者＝高岡市吉久

北日本新聞
H25年10月1日
34面

図5-5 北日本新聞記事　h25年10月1日 34面

図5-7 新吉久電停部の車両走行状況

5 新規登録候補区間

5－3. 新規登録候補区間の事例2 〔国道8号 水橋二杉交差点〕

○ ETC2.0のデータから、高岡から滑川に向かう上り線で、急ブレーキが多発していることが判明
○ 要因は、交差点高岡側の下り勾配による速度超過の誘発や、パーキングに向かう左折車両による速度低下への対応遅れなどと想定
○ 同地点の事故発生状況は、4年間で7件（全11件の約6割）

■ 広域図

図5-8 位置図

〔急ブレーキ想定要因〕
①交差点手間が下り勾配のため速度超過を誘発
②交差点を左折する車両による速度低下への対応遅れ

〔対策方針(案)〕
①速度抑制策＋注意喚起対策
②左折車と直進車の分離

■ 事故発生状況

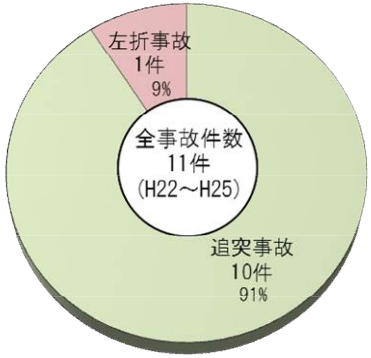


図5-10 事故類型割合

■ 急ブレーキ発生箇所図

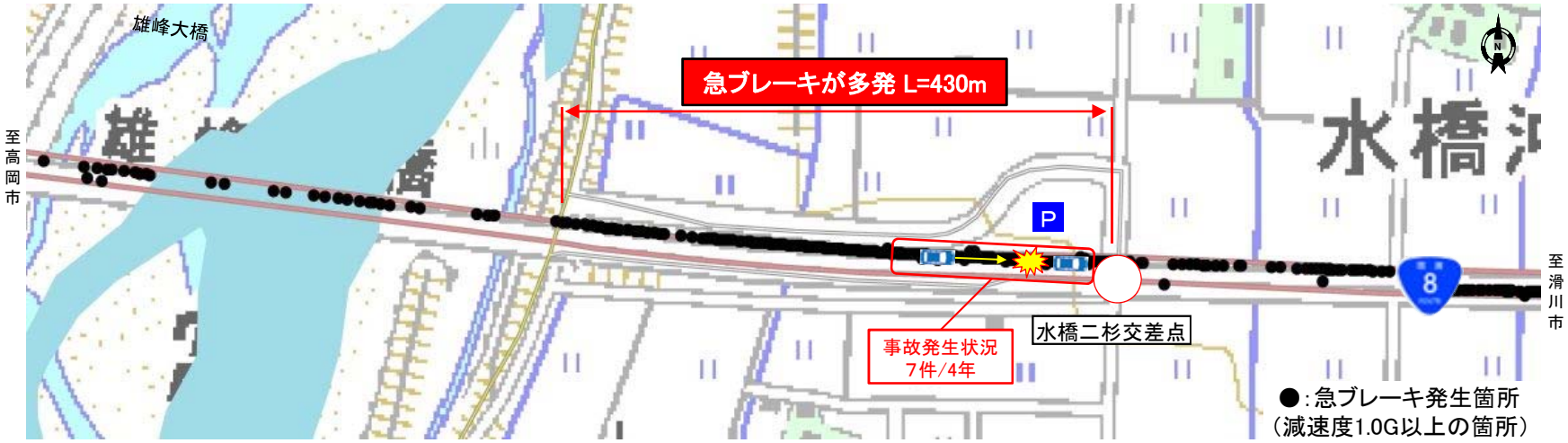


図5-9 急ブレーキ発生状況図

6（新）安全走行阻害箇所

○ H27年度追加区間は、事故多発箇所：４区間＋事故危険箇所：20区間の24区間を追加。
○ 既存登録区間：236区間 ＋新規登録区間：24区間　計260区間を登録。

■ 安全走行阻害箇所登録箇所数

＜H27年度追加：**24区間**＞

事故データ※による抽出　・・・24区間

事故多発箇所

死傷事故率：100件/億台km以上
重大事故率：10件/億台km以上
死傷事故件数：1件/年以上

4区間

事故危険箇所

これまでの抽出条件

① 死傷事故率
：100件/億台km以上
② 重大事故率
：10件/億台km以上
③ 死亡事故率
：1件/億台km以上

＋

追加抽出条件

・これまでの抽出条件に該当しない箇所のうち、ETC2.0のビッグデータを活用して判明した潜在的危険箇所等、地域の課題や特徴を踏まえ、特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所

20区間

アンケートによる抽出　・・・0区間

アンケート意見

・同一箇所で複数人（2人以上）から危険と指摘された箇所のうち、指摘事項と過去に発生した事故の内容が合致した箇所

0区間

安全走行阻害箇所
236区間

新安全走行阻害箇所
260区間

図6-1 H27年度 安全走行阻害登録箇所数

※事故データ
H22～H25年データ

参 考 資 料

参 考 資 料

- 平成２７年度安全走行阻害箇所：直轄国道：133区間

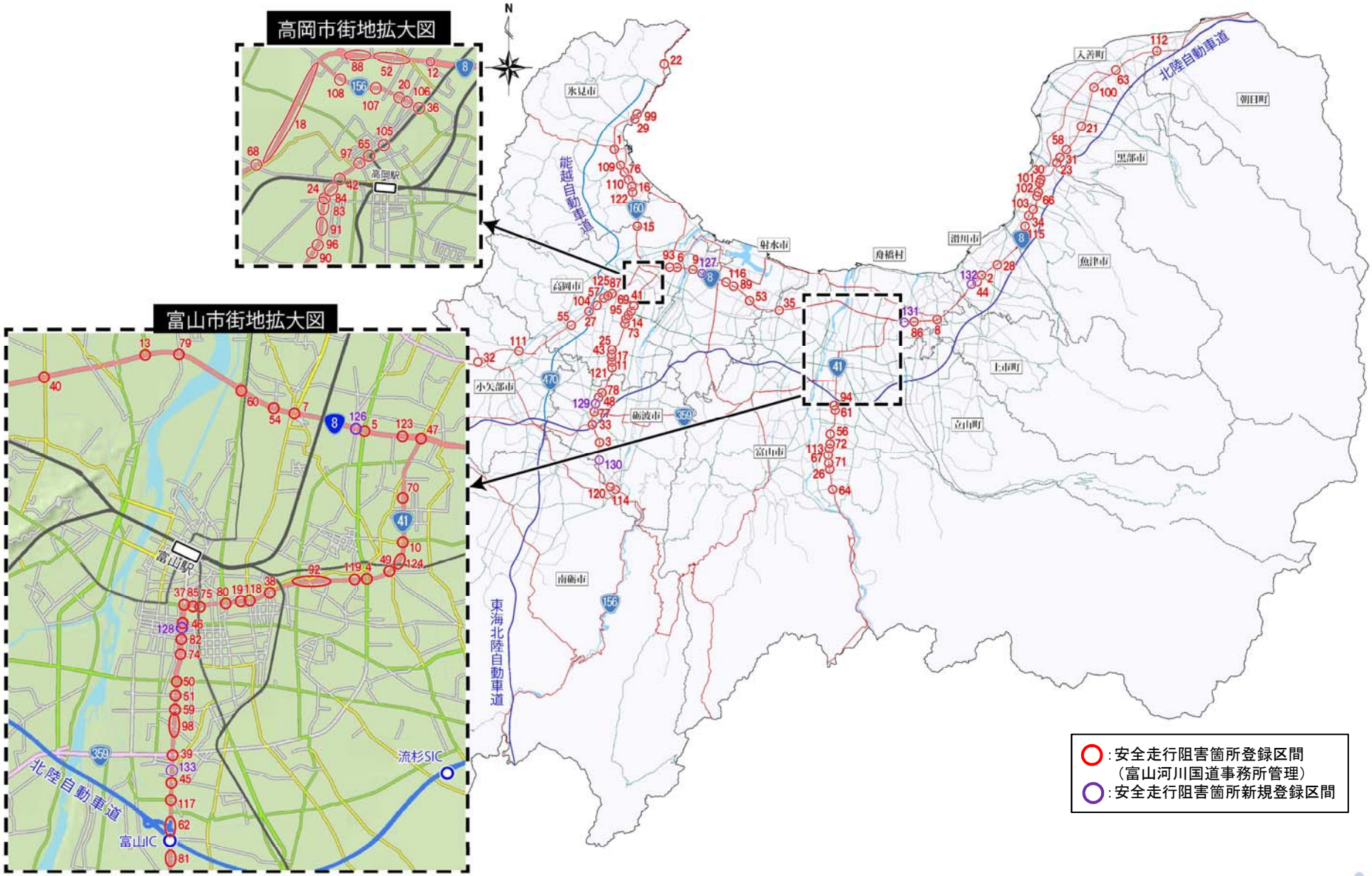
表1　安全走行阻害箇所登録区間一覧表（直轄国道）

位置図番号	路線名	市区町村名	対象区間（地先名）	登録年度
1	160	氷見市	幸町交差点	H20
2	8	滑川市	稲泉交差点	H20
3	156	砺波市	五郎丸交差点	H20
4	41	富山市	荒川東部交差点	H20
5	8	富山市	新屋交差点	H20
6	8	高岡市	下田交差点	H20
7	8	富山市	豊田東交差点	H20
8	8	富山市	北馬場交差点	H22
9	8	射水市	坂東交差点	H20
10	41	富山市	向新庄口交差点	H20
11	156	高岡市	戸出町4丁目交差点	H22
12	8	高岡市	向野本町交差点	H22
13	8	富山市	田尻交差点	H22
14	156	高岡市	佐野	H22
15	160	氷見市 高岡市	東海老坂交差点	H22
16	160	氷見市	柳田	H22
17	156	高岡市	戸出町4丁目交差点～戸出町	H22
18	8	高岡市	四屋交差点～羽広町交差点	H20
19	41	富山市	富山市柳町	H20
20	156	高岡市	大坪町交差点	H20
21	8	黒部市	西小路交差点	H22
22	160	氷見市	大境～姿	H22
23	8	黒部市	田家交差点	H20
24	156	高岡市	清水町交差点	H20
25	156	高岡市	伊勢領交差点	H22
26	41	富山市	上二杉	H20
27	8	高岡市	宝来町交差点	H22
28	8	滑川市	北野第二交差点	H20
29	160	氷見市	薮田	H22
30	8	魚津市	江口	H20
31	8	黒部市	田家新～前沢	H22
32	8	小矢部市	倶利伽羅トンネル	H20
33	156	砺波市	太郎丸交差点	H23
34	8	魚津市	ミラージュホール前交差点	H23
35	8	富山市	本郷西交差点	H23
36	156	高岡市	広小路交差点	H23
37	41	富山市	城址公園前交差点	H23
38	41	富山市	舘出交差点	H23
39	41	富山市	掛尾町交差点	H23
40	8	富山市	八町交差点	H23
41	156	高岡市	卸売市場口交差点	H23
42	156	高岡市	南町交差点	H23
43	156	高岡市	戸出狼交差点	H23
44	8	滑川市	上島北交差点	H23
45	41	富山市	掛尾町第二交差点	H23
46	41	富山市	一番町交差点	H23
47	8	富山市	金泉寺交差点	H23
48	156	砺波市	市役所前交差点～十年明交差点	H23
49	41	富山市	新庄交差点	H23
50	41	富山市	城南公園前交差点	H23
51	41	富山市	太郎丸交差点	H23
52	8	高岡市	熊野町交差点～木町交差点	H23
53	8	射水市	大江交差点	H23
54	8	富山市	高園町交差点	H23
55	8	高岡市	福岡町下蓑 中島町交差点～末広町交差点	H23
56	41	富山市	下大久保地先（無信号交差点）	H23
57	8	高岡市	東五位小学校前交差点～西高岡駅口交差点	H23
58	8	黒部市	前沢交差点	H23
59	41	富山市	市民病院前交差点	H23
60	8	富山市	中島IC	H23
61	41	富山市	空港口交差点	H23
62	41	富山市	富山IC出入口	H23
63	8	入善町	上野東交差点	H24
64	41	富山市	高内交差点	H24
65	156	高岡市	片原町交差点	H24
66	8	魚津市	吉島西交差点	H24
67	41	富山市	下大久保字九番割	H24
68	8	高岡市	羽広町交差点	H24
69	156	高岡市	佐野交差点	H24
70	41	富山市	新庄本町	H24
71	41	富山市	上大久保六区西交差点	H24
72	41	富山市	下大久保字八番割～七番割	H24
73	156	高岡市	西藤平蔵地先（無信号交差点）	H24
74	41	富山市	星井町交差点	H24
75	41	富山市	荒町交差点	H24
76	160	氷見市	窪	H24
77	156	砺波市	花園町交差点	H24
78	156	砺波市	油田交差点	H24
79	8	富山市	金山新交差点	H24
80	41	富山市	北新町交差点	H24
81	41	富山市	黒崎～黒崎北交差点	H24
82	41	富山市	千石町三丁目交差点（星井町一丁目交差点）	H24
83	156	高岡市	泉町～清水町	H24
84	156	高岡市	清水町	H24
85	8	高岡市	木町交差点～四屋IC	H24
86	8	射水市	津幡江交差点	H24
87	156	高岡市	木津新	H24
88	156	高岡市	鐘紡町	H24
89	41	富山市	双代町交差点～田中町	H24
90	8	高岡市	江尻立体ランプ分合流部	H24
91	41	富山市	荒町西交差点	H24
92	8	富山市	水橋小路交差点	H24
93	8	高岡市	六家交差点	H24
94	41	富山市	蜷川	H24
95	156	高岡市	諏訪佐野交差点	H24
96	156	高岡市	木津新～鐘紡町（鐘紡町南交差点）	H24
97	156	高岡市	堀上町交差点	H24
98	41	富山市	掛尾町～今泉南交差点	H24
99	160	氷見市	泊	H24
100	8	入善町	道古交差点	H25
101	8	魚津市	新江口交差点周辺	H25
102	8	魚津市	吉島地先（北日本新聞社前）	H25
103	8	魚津市	友道東交差点	H25
104	8	高岡市	立野地先	H25
105	156	高岡市	大手町交差点～本町交差点	H25
106	156	高岡市	あわら町交差点	H25
107	156	高岡市	五福町交差点周辺	H25
108	156	高岡市	内免交差点周辺	H25
109	160	氷見市	朝日丘交差点	H25
110	160	氷見市	窪交差点	H25
111	8	小矢部市	桜町西交差点～芹川東交差点	H25
112	8	朝日町	小川橋	H25
113	41	富山市	下大久保交差点～下大久保若草町交差点	H25
114	156	砺波市	金屋	H25
115	8	魚津市	慶野交差点	H26
116	8	射水市	野村交差点	H26
117	41	富山市	上袋交差点	H26
118	41	富山市	東町交差点	H26
119	41	富山市	荒川交差点	H26
120	156	砺波市	示野交差点	H26
121	156	高岡市	戸出光明寺地先	H26
122	160	氷見市	上泉交差点	H26
123	8	富山市	三上地先	H26
124	41	富山市	新庄跨線橋	H26
125	8	高岡市	高岡IC入口交差点	H26
126	8	富山市	飯野新屋交差点	H27
127	8	射水市	沖塚原交差点	H27
128	41	富山市	一番町（南）交差点	H27
129	156	砺波市	栄町交差点	H27
130	156	砺波市	荒高屋地先	H27
131	8	富山市	水橋二杉交差点	H27
132	8	滑川市	上島神社前交差点	H27
133	41	富山市	公設市場前交差点	H27

：事故危険箇所（38区間）　：事故多発箇所（61区間）　：パブコメ･アンケート（34区間）

参 考 資 料

図1　安全走行阻害箇所位置図（直轄国道）



参 考 資 料

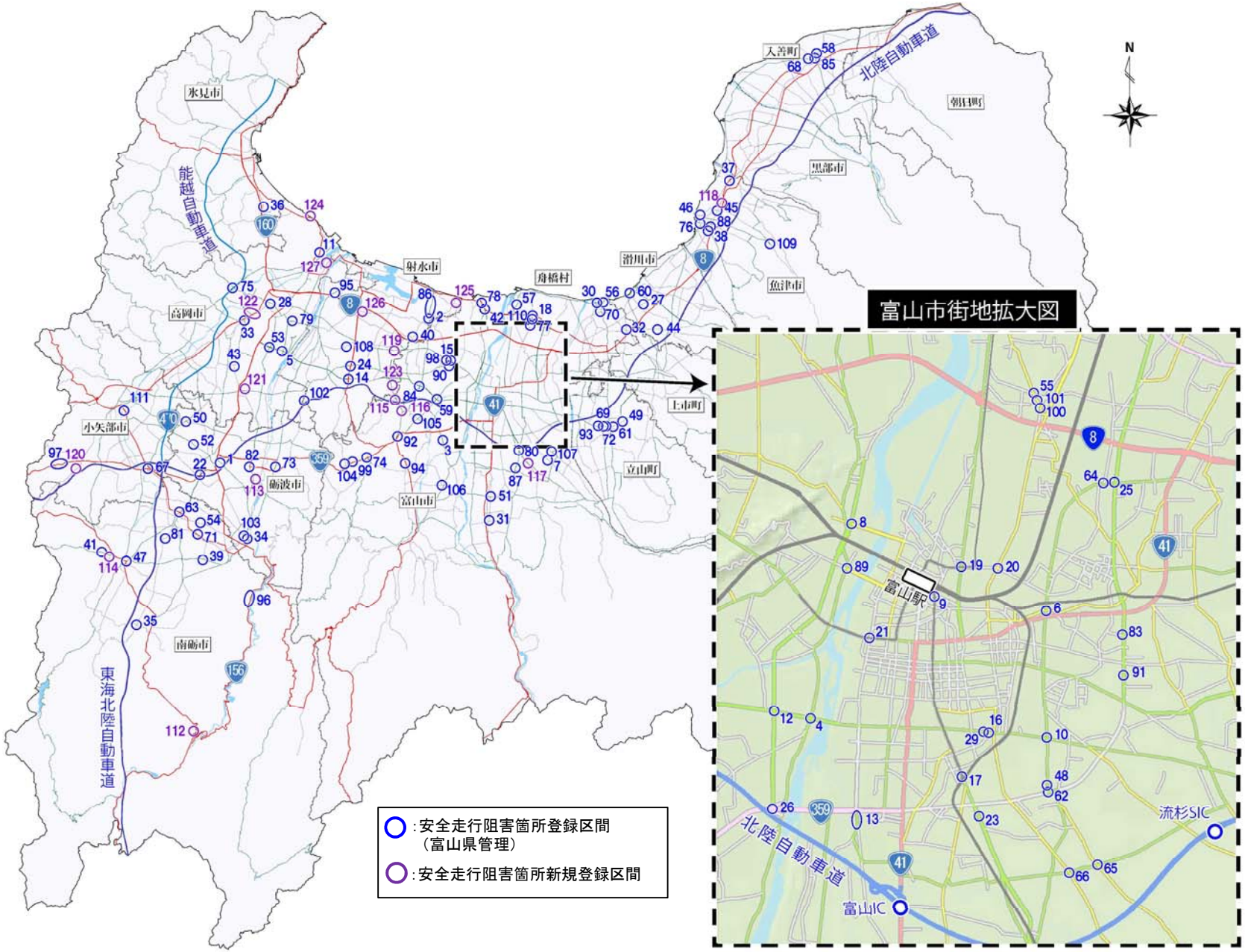
- 平成２７年度安全走行阻害箇所：県管理道路：127区間

表2　安全走行阻害箇所登録区間一覧表（県管理道路）

位置図番号	路線名	市区町村名	対象区間（地先名）	登録年度
1	砺波庄川線	砺波市	六郎丸2丁目	H20
2	新湊平岡線	射水市	加茂中部	H20
3	富山外郭環状線	富山市	婦中町砂子田	H20
4	富山八尾線	富山市	有沢交差点	H20
5	高岡環状線	高岡市	二塚交差点	H20
6	富山大沢野線	富山市	双代町北交差点	H20
7	三室荒屋富山線	富山市	中屋交差点	H20
8	富山八尾線	富山市	田刈屋東交差点	H20
9	富山停車場線	富山市	中央郵便局前交差点	H20
10	富山立山魚津線	富山市	中市交差点	H20,H27
11	国道415号	高岡市	伏木古府1丁目	H20
12	富山環状線	富山市	羽根（東）交差点	H20
13	富山環状線	富山市	黒瀬交差点～黒瀬（南）交差点	H20
14	国道472号	射水市	五歩一交差点	H20
15	富山高岡線	富山市	呉羽町	H20
16	富山立山魚津線	富山市	大泉本町交差点	H20
17	富山上滝立山線	富山市	大町　南富山駅前交差点	H20
18	国道415号	富山市	中田交差点	H20
19	富山港線	富山市	永楽町地内	H20
20	八幡田稲荷線	富山市	窪本町交差点	H20
21	富山高岡線	富山市	安野屋　安野屋交差点	H20
22	国道359号	砺波市	九本杉交差点	H20
23	富山上滝立山線	富山市	大町1区南部交差点	H20
24	国道472号	射水市	下条交差点	H20
25	富山環状線	富山市	飯野交差点	H20
26	国道359号	富山市	婦中町　婦中大橋西詰	H20
27	富山滑川魚津線	滑川市	上小泉西交差点～上小泉	H20
28	高岡氷見線	高岡市	金屋交差点～昭和町1丁目	H20
29	富山立山魚津線	富山市	大泉本町1丁目～大泉本町交差点	H20
30	富山魚津線	富山市	水橋天神町交差点	H20
31	大沢野大山線	富山市	上大久保六区東交差点	H20
32	上市水橋線	富山市	五郎丸交差点	H20
33	立野鴨島線	高岡市	六家（北）交差点	H20
34	小森谷庄川線	砺波市	庄川町青島	H20
35	才川七城端線	南砺市	千福	H20
36	薮田下田子線	氷見市	上泉東交差点	H20
37	福平経田線	魚津市	持光寺交差点	H20
38	金山谷田方町線	魚津市	大光寺交差点	H20
39	金沢井波線	南砺市	北市	H20
40	小杉本江線	射水市	白石	H20
41	金沢井波線	南砺市	法林寺	H20
42	国道415号	富山市	四方荒屋交差点	H20
43	本保福岡線	高岡市	本保	H20
44	堀江魚津線	滑川市	堀江	H20
45	阿弥陀堂魚津停車場線	魚津市	上村木東交差点	H20
46	魚津停車場線	魚津市	末広町交差点	H20
47	国道304号	南砺市	福光駅前交差点	H20
48	富山大沢野線	富山市	山室～山室(西)交差点	H20
49	日中五百石線	立山町	江崎交差点	H20
50	福光福岡線	砺波市	東中交差点	H20
51	立山山田線	富山市	下大久保（四区）交差点	H20
52	砺波小矢部線	砺波市	神島交差点	H20
53	高岡庄川線	高岡市	林新	H20
54	井波福野線	南砺市	年代	H20
55	蓮町新庄線	富山市	豊田小学校前交差点	H20
56	富山魚津線	富山市	水橋天神町交差点～水橋中村町交差点	H20
57	富山魚津線	富山市	西宮	H20
58	入善朝日線	入善町	入善東町交差点	H20
59	富山庄川線	富山市	安田交差点	H20
60	富山魚津線	滑川市	横町～橋場町	H20
61	日中五百石線	立山町	中米沢交差点	H20
62	富山大沢野線	富山市	山室西交差点	H20
63	国道471号	南砺市	松原（西）交差点	H20
64	富山大沢野線	富山市	鍋田　鍋田交差点	H20
65	富山環状線	富山市	太田交差点	H20
66	富山環状線	富山市	本郷町　本郷町(四)交差点	H20
67	国道359号	小矢部市	津沢小学校前交差点	H20
68	魚津生地入善線	入善町	入善西口交差点	H20
69	富山立山魚津線	立山町	土木事務所前交差点	H20
70	水橋停車場線	富山市	水橋大町～水橋館町	H20
71	国道471号	南砺市	焼野交差点	H20
72	富山立山魚津線	立山町	駅前交差点	H20
73	新湊庄川線	砺波市	頼成	H20
74	国道359号	富山市	婦中町　外輪野交差点	H20
75	小矢部伏木港線	高岡市	岩坪西交差点	H20
76	金山谷田方町線	魚津市	新宿交差点	H20
77	八幡田稲荷線	富山市	米田町1丁目	H20
78	国道415号	富山市	四方荒屋（北）交差点	H20
79	高岡青井谷線	高岡市	大野交差点	H20
80	富山上滝立山線	富山市	布市駅口交差点	H20
81	福野城端線	南砺市	広安	H20
82	国道359号	砺波市	太田交差点	H20
83	富山環状線	富山市	経堂4丁目	H20
84	富山小杉線	富山市	古沢東交差点	H20
85	入善朝日線	入善町	町民会館前交差点～入膳中町交差点	H20
86	新湊平岡線	射水市	有磯2丁目～加茂中部	H20
87	富山大沢野線	富山市	吉岡（北）交差点	H20
88	富山滑川魚津線	魚津市	大光寺～友道	H20
89	富山八尾線	富山市	神通町　神通大橋西詰	H20
90	富山戸出小矢部線	富山市	呉羽町地内	H20
91	富山環状線	富山市	天正寺	H20
92	国道359号	富山市	婦中町下邑～婦中町新町	H20
93	富山立山魚津線	立山町	草野	H20
94	国道472号	富山市	婦中町　富崎～千里駅前交差点	H20
95	新湊庄川線	射水市	松木	H24
96	国道156号	南砺市	利賀村下原	H24
97	国道359号	小矢部市	五郎丸	H24
98	富山高岡線	富山市	呉羽町	H24
99	国道359号	富山市	婦中町吉住	H24
100	蓮町新庄線	富山市	豊田本町2丁目	H24
101	蓮町新庄線	富山市	豊田本町1丁目	H24
102	串田新黒河線	射水市	黒河新	H24
103	小森谷庄川線 市道庄川6号線	砺波市	庄川町青島	H24
104	小杉吉谷線	富山市	婦中町吉谷	H24
105	婦中平岡線	富山市	婦中町下条	H24
106	杉田高日附線	富山市	婦中町広田	H24
107	富山外郭環状線	富山市	県道上滝山室交差点	H24
108	小杉大門線	射水市	本多	H24
109	宇奈月大沢野線	魚津市	島尻	H24
110	八幡田稲荷線	富山市	中田3丁目	H24
111	国道471号	小矢部市	茄子島交差点	H24
112	国道304号	南砺市	見座～来栖	H27
113	（主）砺波細入線	砺波市	太田地先	H27
114	（主）金沢井波線	南砺市	法林寺交差点	H27
115	（主）小杉婦中線	富山市	山本～西押川	H27
116	（主）新湊婦中線	富山市	平岡交差点	H27
117	（主）富山上滝立山線	富山市	開発交差点	H27
118	（一）阿弥陀堂魚津停車場線	魚津市	釈迦堂地先	H27
119	（一）小杉本江線	射水市	鷲塚地先	H27
120	（一）砂子谷埴生線	小矢部市	臼谷～未友	H27
121	（主）富山戸出小矢部線	高岡市	戸出町北交差点	H27
122	（主）高岡羽咋線	高岡市	北島西交差点	H27
123	（主）小杉婦中線	射水市	池多～土代	H27
124	国道415号	高岡市	雨晴交差点	H27
125	（一）小杉本江線	射水市	本江地先	H27
126	（一）八町大門線	射水市	殿村交差点	H27
127	（一）堀岡新明神能町線	高岡市	新吉久電停部	H27

：事故危険箇所（59区間）　：事故多発箇所（59区間）　：パブコメ･アンケート（9区間）

図2 安全走行阻害箇所位置図（富山県管理道路）



〔参考資料〕死傷事故率とは

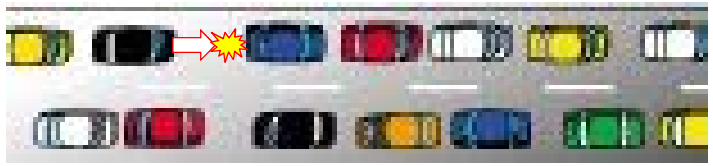
■死傷事故率 （単位：件/億台km）
・事故件数という絶対数を相対的に評価するために、交通量と道路延長を用いて表した評価指標

● 算定式

$$\text{死傷事故率（件/億台km）} = \frac{\text{①死傷事故件数（件/年）}}{\text{②日当たり交通量（台/日）×道路延長（km）×365日}} \times 1\text{億}^{※}$$

※1億倍の理由：数値を顕在化させるため便宜的に使用

● 交通量が多く死傷事故発生件数が多い箇所



交通量が多く死傷事故発生件数が多い箇所でも
死傷事故率が低めとなる。

例１：国道8号　飯野新屋交差点

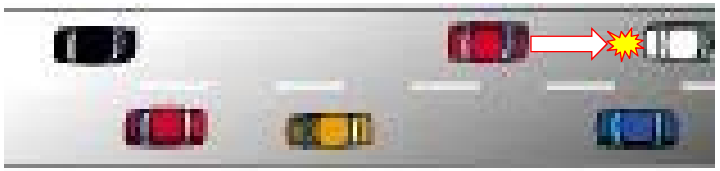
・日交通量：43,118台/日
（H22年道路交通センサス値）
・死傷事故件数：2.75件/年
（４年間で11件発生）

データ:ITARDAデータ(H23～H26)

$$\text{死傷事故率} = \frac{\text{年間死傷事故件数:2.75件/年}}{\text{43,118台/日×延長:0.1km×365日}} \times 1\text{億}$$

死傷事故率：174.74件/億台ｋｍ

● 交通量が少なく死傷事故発生件数が少ない箇所



交通量が少なく死傷事故発生件数が少ない箇所でも
死傷事故率が高めとなる。

例２：国道160号　幸町交差点

・日交通量：14,005台/日
（H22年道路交通センサス値）
・死傷事故件数：2.00件/年
（４年間で8件発生）

データ:ITARDAデータ(H23～H26)

$$\text{死傷事故率} = \frac{\text{年間死傷事故件数:2.00件/年}}{\text{14,005台/日×延長:0.1km×365日}} \times 1\text{億}$$

死傷事故率：391.25件/億台ｋｍ